



2022年11月1日

株式会社 阿波銀行

オープンデザイン株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、オープンデザイン株式会社（代表取締役 吉村 拓也、本社：愛媛県松山市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	オープンデザイン株式会社
所在地	愛媛県松山市堀江町 1769 番地 7
代表者	吉村 拓也
業種	インターネット活用の企画設計、飲食業
設立	2008年6月16日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年11月1日



オープンデザイン株式会社 代表取締役 吉村 拓也

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会	従業員の ウェルビーイングの 向上	心身共に健康で、働きがいをもって働けるよう、社員の健康の維持に努めるとともに、持続可能な働き方の実現をサポートします。	① (1)健康診断の年度平均受診率の向上 (2)健康管理や健康食等を紹介するパンフレットの配布、教育研修の実施	
			② (1)従業員の健康診断を年一回100%受診(WEB制作部門、飲食部門) (2)フレックスタイムの実施等社員に合わせた労働時間管理の徹底(WEB制作部門)	
社会	情報漏えいの 防止	各種機密情報の保護の重要性を従業員全員が認識し、情報漏えい防止に努めます。	① (1)顧客情報取扱いに関するマニュアルの制定 (2)パソコンや記憶メディアの取扱いルール制定	
			② (1)2024年度までに社内マニュアルの作成し社員全員への配布(WEB制作部門) (2)外注先とは全て業務委託契約を交わすことを100%実施(WEB制作部門)	
環境・ 経済	地産地消の 推進	地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外商を推進します。	① (1)地域産の木材を使用した製品の開発・購入 (2)地域の特産品・自然等の特色を生かしたイベント企画	
			② (1)地元食材を積極的に用いた料理の提供(飲食部門) (2)西予市森林組合と「森育」をするための体験場を作り、林業の人材不足や地域への貢献に努める。年間1回イベント実施。(WEB制作部門)	
環境・ 社会・ 経済	社会課題 解決に資する 商品・サービス 開発	SDGsのターゲットやゴールと自社事業のつながりに関して理解を深め、今後SDGsに貢献する製品・サービスの開発に取組みます。	① (1)自社事業による社会的課題へのアプローチを検討・整理 (2)SDGs軸の製品・サービス開発検討会の実施	
			② (1)mottECOを取得し、食品ロスの削減への理解を顧客にして頂く取組(飲食部門) (2)クライアントのHPにSDGsへの取組を紹介するページ作成の提案を100%実施(WEB制作部門)	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

